

第102期中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日



コーポレートムービーを公開しています

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスの影響が続くなか、当中間期は、減収となったものの、早期の生産正常化と需要回復に応じた迅速な拡販・商品供給に加え、コストダウンも着実に進展し、各利益とも増益を達成することができました。

今般のコロナ禍によって、生活様式をはじめ社会が大きく変容しつつあります。こうした状況下においても当社グループは、企業理念「共に未来を生きる」のもと、短期的な利益追求よりも、お客様と社会・従業員を含めたステークホルダーへの責任を果たすことを優先し、持続可能な社会実現への貢献を通じた中長期的な企業価値の向上により、株主のみなさまのご期待に応えてまいります。

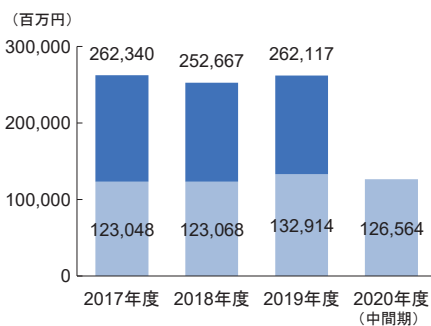
株主のみなさまにおかれましては、なにとぞ倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



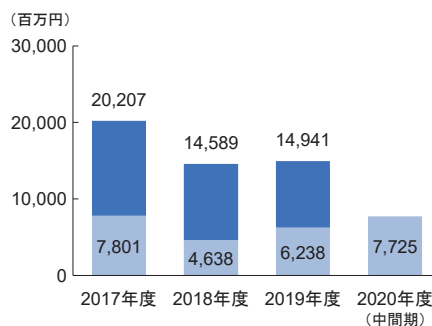
代表取締役社長
齋藤 悦郎

連結業績ハイライト

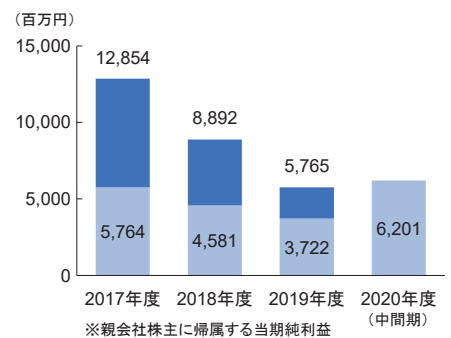
●売上高



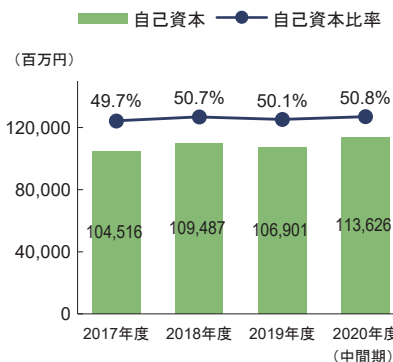
●営業利益



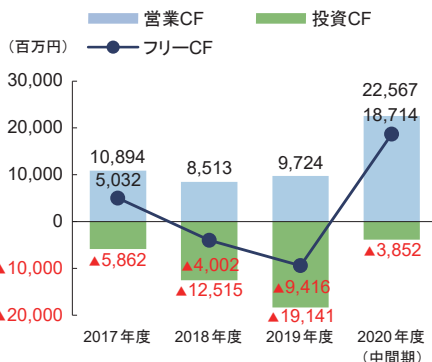
●当期純利益※



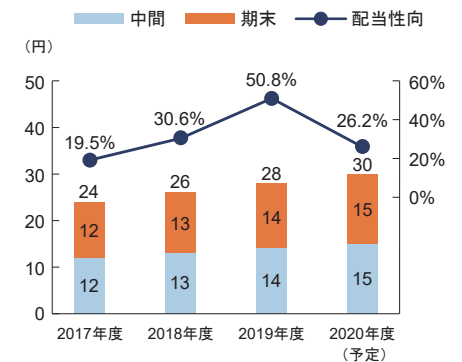
●自己資本、自己資本比率



●キャッシュ・フロー(CF)



●配当額、配当性向



空調機部門



当社独自の「熱交換器加熱除菌」機能でカビ菌・細菌を99%以上除去する「ノクリア」Xシリーズ

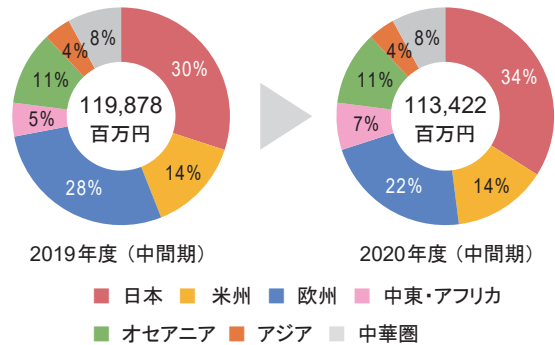
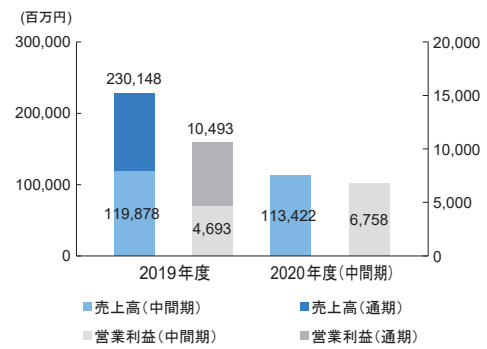


米国で販売が伸長した全館空調方式エアコン

国内向けの販売増や中東向けの出荷増がありました。欧州向けを中心とした海外向けの販売減により、売上高は1,134億2千2百万円（前年同期比5.4%減）となりました。営業利益は、海外向けの減収影響を最小限に抑えけるとともに、コストダウンの進展および為替相場の好転等により、67億5千8百万円（同44.0%増）となりました。

なお、新型コロナウイルスの影響が続くなか、早期の生産正常化に努め、北米や欧州の一部地域などにおける想定より早い需要回復にもタイムリーな商品供給で対応し販売を上積みするなど、海外の重点市場を中心に売上は計画を上回りました。

日本	新型コロナや梅雨長期化等の影響があったものの、在宅需要や住環境への関心の高まり等で需要は堅調に推移、様々なニーズに応えるラインアップを揃え、売上増
米州	ブラジルで大幅な減収となったものの、北米のルームエアコン販売が堅調に推移、全館空調方式エアコンも売上が増加し、米州全体の売上は前年同期並み
欧州	猛暑や補助金政策があった前年同期と比べると、新型コロナの影響もあり、売上減
中東・アフリカ	市況は低迷するも、現地在庫の削減を進めた前年同期の出荷水準が低く、売上増
オセアニア	空調機の販売は堅調に推移したが、サービスメンテナンス業務が低迷し、売上減
アジア	インドは前年同期を上回ったが、その他地域で新型コロナの影響を受け、売上減
中華圏	VRFの販売は増加したが、ルームエアコンの販売ルート絞り込み等により、売上減

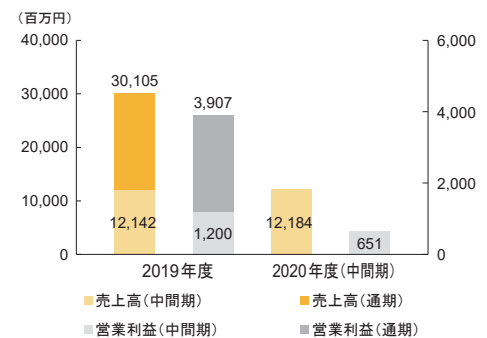


情報通信・電子デバイス部門



住民のみなさまの安心・安全を支える消防・救急通信指令システム

情報通信システムの販売増により、売上高は121億8千4百万円（前年同期比0.3%増）となりましたが、案件ごとの利益率の違いから営業利益は6億5千1百万円（同45.7%減）となりました。



情報通信システム	前年度の受注が好調だった防災システムの納入が順調に進展し、売上増
電子デバイス	自動車市場低迷による車載関連機器の販売減により、売上減

トピックス

■ 清潔性に対する意識の高まりに応える機能や商品の提供

当社は独自の「熱交換器加熱除菌」機能や、加湿除菌脱臭機「プラズイオン」で、清潔で快適な空間を提供します。

<エアコンの「熱交換器加熱除菌」機能>

冷房・除湿運転時にエアコン内部の熱交換器に発生した水滴で汚れを浮かせて洗い流し、55℃に高温加熱することでカビ菌・細菌を除去する「熱交換器加熱除菌」機能を、高級機種から普及機種、寒冷地向け機種まで幅広く搭載しています。さらに、新型「ノクリア」Xシリーズでは、加熱・除菌の全工程を最大35分（従来は50分）と大幅に短縮したほか、使う人の生活リズムをAIが学習し、業界で初めて不在時に自動で「熱交換器加熱除菌」を行うことで、より快適性を高めています。



「ノクリア」Xシリーズ

<加湿除菌脱臭機「プラズイオン」>

「プラズイオン」は、強力な脱臭能力でペットユーザーなどから幅広く支持をいただいている商品です。さらに、プラズマイオンと低濃度オゾンによって空気中に浮遊するウイルスを抑制し、細菌やカビ菌を除去することで室内の空気を清潔に保ちます。今年度は、新型コロナウイルスの影響による在宅時間の増加などを背景に、前年同月比で7月約50%増、8月約70%増と販売台数が大幅に増加しました。



加湿除菌脱臭機「プラズイオン」

■ 提携・協業先との共同開発によるハード領域のラインアップ拡充

2016年より商品の相互供給を開始した米国リーム社との共同開発の第一弾として、両社の技術を融合した北米向けマルチポジションダクトエアコンの販売を、本年8月より開始しました。今回共同開発した機種は、小型で静かな室外機と多様な設置方法に対応可能なマルチポジションタイプの室内機とを組み合わせ合わせた製品で、既存機種では設置が難しかった地域にも対応でき、計画を上回る受注で好調な滑り出しを見せています。



当社製室外機（左）とリーム社製室内機（右）を組み合わせ合わせたマルチポジションダクトエアコン



設置イメージなど詳細はこちらからご覧いただけます。

います。

■ 「健康経営2.0」への取り組み

当社は、サステナビリティ経営の一環として、「社員」を最も大切なステークホルダーと位置付け、2017年より健康経営への取り組みを推進しています。

社員一人ひとりが健康で幸せと喜びを実感できる企業を目指し、全社員を対象とした面談、川崎本社内の「健康デザインセンター」開設といった様々な支援をこれまで行ってきました。また、健康経営に関する様々な認定や表彰を官公庁や外部団体から受けており、本年9月には「福利厚生EXPO」において、当社代表取締役社長であり、最高健康責任者（Chief Health Officer）である齋藤が「ゼロから始める健康経営」と題した講演を行いました。

今後は、社員を支える家族に対する施策、健康経営導入を目指す企業への支援等を「健康経営2.0」と位置付け、持続可能な社会実現への貢献にも取り組んでまいります。

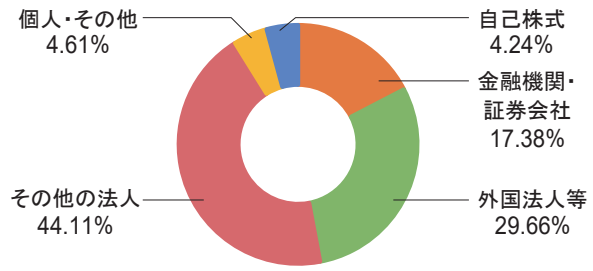


社員自身が健康をデザインする場所として設置した川崎本社内「健康デザインセンター」（写真は定期的に開催している「セルフコンディショニング・セミナー」でストレッチをする様子）

株式の状況（2020年9月30日現在）

発行済株式総数…………… 109,277,299株
株主数…………… 5,107名

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人および	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
定時株主総会	毎年6月	特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告（下記ウェブサイトに掲載いたします） https://www.fujitsu-general.com/jp/	（電話照会先）	電話 0120-782-031（フリーダイヤル）
		上場証券取引所	東京（証券コード：6755）

ホームページのご案内

・IR情報（株主・投資家の皆様へ）
決算情報をはじめとする経営情報を掲載しています。
www.fujitsu-general.com/jp/ir/



・CSR
統合報告書、サステナビリティレポートなどCSR情報を掲載しています。
www.fujitsu-general.com/jp/csr/



FUJITSU GENERAL Way 企業理念

Our Mission

— 共に未来を生きる —

私たちは、革新的なモノづくりを通じて、
世界中のお客様と社会のために、
安らぎに満ちた、今日にない明日を届けます。

Our Philosophy

自発的に取り組みます

私たちは、自己成長のための努力を惜みず、
たゆまぬ創意工夫と先見力で、自ら新しいことに挑戦します。

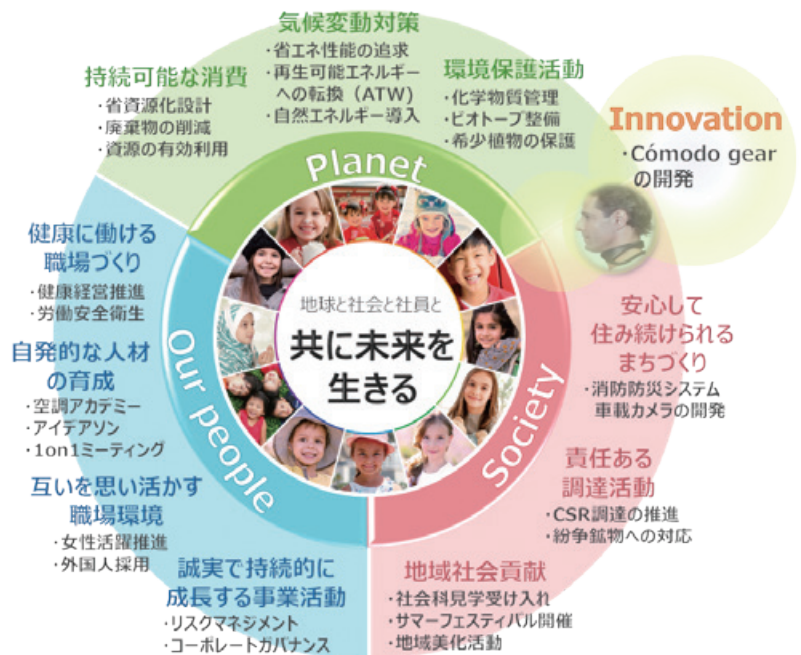
人を思い活かします

私たちは人を思いやり、異なる文化と多様性を活かし、
協調と対話を通じて、人の可能性を最大化します。

誠実さを大切にします

私たちは、誠実さを旨とし、常に高い倫理観を持って、
人として正しい道を歩みます。

サステナビリティを中心にした現在の事業イメージ



株式会社 富士通ゼネラル

〒213-8502 川崎市高津区末長三丁目3番17号
TEL 044(866)1111（大代表）